

## 平成29年度対ジャマイカ草の根・人間の安全保障無償資金協力 「バフ・ベイ公立小学校通学バス整備計画」引渡式

2018年9月13日、山崎大使はポートランド県のバフ・ベイ公立小学校にて行われた、平成29年度対ジャマイカ草の根・人間の安全保障無償資金協力「バフ・ベイ公立小学校通学バス整備計画」の引渡式に出席しました。引渡式にはダレル・バズ無任所大臣、教育省幹部、同校関係者や地域住民の代表など約300名が出席しました。

同校は、バフ・ベイ地区だけでなく、周辺の山間部からも児童を受け入れていますが、通学バスを所有していないため、徒歩圏外に居住する児童は、公共交通機関（乗り合いバス／タクシー）または保護者の送迎で通学していました。しかし、公共交通システム網は不十分で、児童の遅刻や欠席に繋がっていた他、安全性にも問題があった中、今回の通学バス整備により、登下校に困難を抱えている児童が、安全に問題なく登下校することが実現可能になりました。

ドリーン・ラムナース・バフ・ベイ公立小学校理事長始め同校関係者は、ジャマイカにとって教育は最も重要なものであると強調しつつ、教育環境を改善する本通学バス整備計画は非常に価値の高い寄贈であり、教育の質を高めるものであると高く評価し、日本政府に謝意を表し両国のパートナーシップ重要性を強調しました。

ダレル・バズ大臣は、ポートランド県への日本政府からの援助への喜びと深い感謝を表しつつ、本通学バスが学校の教育環境向上の為に極めて重要である、学校関係者及び児童には本通学バスを末永く大切に使用することを期待したいと述べました。

山崎大使は、本通学バス整備計画の実現に尽力した全ての関係者への謝意を表し、これまでの対ジャマイカ草の根・人間の安全保障無償資金協力の発展を振り返りました。また、今後一層ジャマイカの全ての人々のより良い未来に向けた協力を続けたいと強調し、全ての児童の益々の学業の奮闘と将来への期待を述べました。



ダレル・バズ大臣



挨拶する山崎大使



ジャネット・ブリン教育省地方局長



ドリーン・ラムナース・バフ・ベイ公立小学校  
理事長



歌を披露し感謝を述べる児童代表



安全で適切な通学環境を提供



テープカットをするバズ大臣と山崎大使



バスに乗車するバズ大臣と山崎大使



式典に参加した児童



式典中で歌を歌う児童